

令和5年(2023年) 6月6日

農作物生育・技術情報2号

日高農業改良普及センター日高西部支所
JAびらとり JA門別町

1 水稻生育状況と技術対策(6月1日現在)

●生育状況調査(中苗・ななつぼし・5/24~25日移植ほ場2カ所平均)

区分	草丈 (cm)	葉数 (葉)	茎数 (本/m ²)	遅速 日数	備考
R5年	14.2	3.8	88.0	-1日	移植期 5/25(早1日)
平年値	14.4	3.9	88.2		移植終 5/29(早1日)
差	-0.2	-0.1	-0.2		活着期 5/31(遅1日)

- 移植作業は概ね平年並に終了しました。
- 除草剤の効果を高めるために散布後は止め水とし、散布後4~5日間は田面を露出させず湛水を保つようにしてください。
- 分けつ発生を促進させるには、水温を高めることが必要です。水深をやや浅め(3~4cm)とし、日中は止め水管理を行ってください。
- 稲わらをすき込んだ水田は、水温の上昇により「ワキ」の発生が予想されます。6月中~下旬を目処に中干し(気温が高く天候の良い期間に限る)や水の入れ替えなどを行いましょう。

2 主要野菜の生育状況と技術対策

- 各作物とも育苗中及び定植直後は、夜間の低温対策と日中の高温対策に注意した温度管理に努めてください。
- 施設栽培では、降雨による多湿にならないよう換気に努めて下さい。

作物名	生育状況	技術対策
トマト	3月定植：1~2段目収穫中。 4月定植：1段目収穫中。 5月定植：4~5段花房開花。 全体 ・5月は低温傾向であったため、生育はやや停滞気味。 ・菌核病など多湿条件で発生する病害が見られる。	・着果数の増加に伴いかん水・追肥量を増加し、果実肥大を促進させる。 ・かん水量は1株当たり1~2ℓを目安とする。 ・追肥量は草勢に応じ、少量多回数のかん水を行う。 ・天候に応じた換気、遮光で高温対策に努める。日当たりに応じた摘葉を行う。
ハウス軟白ねぎ	・1月定植収穫中。	・ハウス周辺の除草を徹底する。
ハウス立茎アスパラガス	・立茎移行期、夏芽収穫始。 ・一部ほ場でジュウシホシクビナガハムシが見られる。	・立茎開始時に施肥、倒伏防止対策、かん水、除草を行う。 ・斑点病の早期防除に努める。
かぼちゃ	・定植開始時期は例年並。 生育は順調。	・6月上旬頃から被覆資材を外す。 ・強整枝にならないよう、子づるは早期に除去する。

3 畑作の技術対策

(1) 秋まき小麦 ～赤かび病防除～

生育は進んでおり、開花しているほ場もあります。赤かび病に最も感染しやすい時期は開花期間です。開花始と1週間後の2回の防除が基本となります。

開花始に降雨が予想される場合は、事前に散布を行うなど防除適期を逃さないように注意しましょう。

例) 赤かび病防除

	防除時期	使用農薬名
1回目	開花始	シルバキュア、リベロ
2回目	1回目防除から1週間後	ミラピス、ベフトップジン
臨機防除	2回目防除から1週間～10日後	シルバキュア、リベロ、フルトから選定

(2) 大豆 ～わい化病対策～

大豆の種子塗沫処理にクルーザー FS30、又は、クルーザー MAXX を使用していない場合は、初生葉展開時にアブラムシの防除を行いましょう。

(3) ばれいしょ

萌芽揃いの1週間後に中耕兼ねて半培土、その1週間後に本培土を実施しましょう。本培土が遅れると根やストロンの切断につながるので注意しましょう。

4 牧草生育状況（6月1日現在）

作物名	生育状況			遅速 日数	摘 要 (作業期節・特記事項)
	項 目	R5年	平 年		
牧草(苜蓿)	草丈(1番草)	67.0cm	63.9cm	+2	生育の遅速は平年並。

○1番草収穫

- ・作業機械の整備やサイロ等の清掃・洗浄、被覆資材（スタックシートやロールフィルム等）の確保など、収穫作業に向けた準備を行いましょう。また、定期的に牧草地を観察し、生育状況を確認しておきましょう。
- ・牧草の栄養価や採食性を高めるため、1番草の刈り取りは出穂始～出穂期に行うようにします。収穫時期の気象条件や面積を考慮して適期に収穫できるように作業計画をたてましよう。
- ・収穫時の刈取高を10cmにすることにより、土砂や堆肥など異物の混入防止や二番草の再生促進及び増収が期待できます。

5 サイレージ用とうもろこし生育状況（6月1日現在）

作物名	生育状況			遅速 日数	摘 要 (作業期節・特記事項)
	項 目	R5年	平 年		
100日クラス	草 丈	12.1cm	9.5cm	+2	生育の遅速は平年並。
	葉 数	3.4枚	2.5枚		
	出 芽 期	5/24	5/26		

雑草の防除は、「防除ガイド」に従って効果的な除草剤を選択し、使用量・使用法を遵守して適切に使用しましよう。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ◎農薬の使用に際しては、使用方法と使用上の注意事項を必ず確認しましよう。 ◎農作業の合間には必ず休息をとり、疲労回復を図りましよう。 |
|---|